

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	言語系統樹を用いた琉球語の比較・歴史言語学的研究
研究代表者	狩俣 繁久 (琉球大学・国際沖縄研究所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>これまでの研究の蓄積の上に立ち、目標・方法ともに明確に設定された研究課題である。日本が多言語国家であるという認識は近年やっとなまりつつあるが、琉球諸語の多様性が本土のそれを凌ぐことはまだほとんど知られていない。本研究は、大量のデータを可視化し、最新の方法で系統樹を描き出すことで、琉球諸語の実態を明らかにしようとする極めて有意義な試みである。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>